



## 2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年11月10日

上場会社名 株式会社 アテクト 上場取引所 東  
 コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小高 得央  
 問合せ先責任者 (役職名)経理・財務部部長 (氏名)蔭山 庄二郎 (TEL) 0748-20-3400  
 四半期報告書提出予定日 2017年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年3月期第2四半期の連結業績 (2017年4月1日～2017年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	1,355	10.9	92	△2.6	73	33.3	46	37.6
2017年3月期第2四半期	1,222	△2.2	95	△37.8	55	△32.5	34	△45.1

(注) 包括利益 2018年3月期第2四半期 35百万円 (870.7%) 2017年3月期第2四半期 3百万円 (△86.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	10.90	10.67
2017年3月期第2四半期	8.04	7.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第2四半期	6,146	1,496	23.5
2017年3月期	5,589	1,493	25.7

(参考) 自己資本 2018年3月期第2四半期 1,441百万円 2017年3月期 1,438百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2018年3月期	—	0.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2018年3月期の連結業績予想 (2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2018年3月期2Q	4,326,300株	2017年3月期	4,314,800株
2018年3月期2Q	15,499株	2017年3月期	15,459株
2018年3月期2Q	4,303,518株	2017年3月期2Q	4,239,182株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、2017年11月14日に投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、東大阪から滋賀新本社工場への全部門の移転から約半年が経過し、新レイアウトによる動線の改善、5S活動の徹底、新工場立ち上げと同時に進めてきたIoT（モノのインターネット）の第1STEPが完了し、過去にない最高効率のモノづくり現場に進化致しました。

そのような中、半導体資材事業の売上高が大きく伸長し、グループ連結売上高においても10.9%の増収となり、上述の生産効率の改善による原価低減活動が奏功し、売上総利益は当第2四半期連結累計期間において過去最高となる660百万円（前年同期比68百万円増）となりました。一方、販売管理費については将来の拡大成長戦略に向けた研究開発費の増加、即戦力人材の採用等により、前年同期比71百万円増となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,355百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益92百万円（前年同期比2.6%減）、経常利益73百万円（前年同期比33.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は旧本社工場と隣接するテクニカルセンターの売却損15百万円を特別損失として計上し、46百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

セグメントの概況は次の通りであります。

なお、セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

#### ① P I M（パウダー・インジェクション・モールドィング）事業

P I M事業については自動車用ターボ部品及び急速に拡大するEV化に対応するパワーデバイス用セラミックスセパレーター、セラミックスポールベアリングの具体的案件の本格事業化に向け、即戦力となる研究開発並びに生産技術者の採用、最新鋭の設備、評価機などの増強を進めております。

当第2四半期連結会計期間の主な進捗として、国内大手ターボメーカー様向け次世代ガソリンターボエンジン用ノズルベーンの具体的案件が進行中です。当社P I M工法にてニアネットシェイプに仕上げた焼結体を社内で2次加工する技術確立が完了したことから、ドイツ自動車規格（VDA6.3）の第1回サプライヤー認定のための監査を終了しました。今後は、試作、最終審査に向け、量産技術確立と強固な品質管理体制構築に向け、努力して参ります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は44百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益8百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

#### ② 衛生検査器材事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ、△9百万円とやや減収となりました。架電件数の維持、拡大を推進すべく、テレマーケティングスタッフの定着とスキル向上を目的とし、現地での正規雇用を積極的に進めて参りましたが、今期目標の架電件数を獲得するための人員の確保が不十分であったことが減収の主な要因となりました。第3四半期連結会計期間以降は雇用形態の改善により目標人員の1.5倍以上の応募があり、営業体制を刷新し、売上拡大に努めて参ります。

原価面においては、シャーレ製造においてグループ内で最も進んでいたIoTからの情報を駆使し、個々の設備の異常の有無、センサーデバイスの追加によるインライン滅菌条件の最適化など、稼働率、歩留まり改善、生産時間の大幅短縮が可能となり、旧本社工場比で1.4倍の生産体制を確立致しました。第1四半期連結会計期間で設備移管中に発生した在庫減少も解消し、当第2四半期連結会計期間単独での売上総利益率は過去最高の50.6%となりました。また、培地製造の売上総利益率は、当第2四半期連結会計期間単独で54.7%と高水準を維持しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は788百万円（前年同期比1.2%減）、全社で増加している販売管理費の売上高比率に伴う配賦額の増加により営業利益は48百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

③ 半導体資材事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は4Kテレビの普及率拡大、4Kテレビ対応高品質スペーサテープによるシェア拡大、スマートフォン向け市場への参入により、数量で23%、売上高で31%増と大きく伸ばしました。当連結会計年度以降も更に大幅なプラス成長が見込まれており、韓国、日本両拠点での全生産ラインのタクトタイムを1.5倍に引き上げると共に無線対応可能な最新のPLC（シーケンサー）への載せ替えによりIoTの第2STEPを実行、生産体制増強と設備改造による効率化を実現して参ります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は527百万円（前年同期比31.4%増）、営業利益35百万円（前年同期比100.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ10.0%増の6,146百万円となりました。

これは、「現金及び預金」が218百万円、「建物及び構築物」が460百万円、「機械装置及び運搬具」が76百万円増加する一方、「建設仮勘定」が211百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ13.5%増の4,649百万円となりました。

これは、「短期借入金」が250百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が104百万円、「長期借入金」が208百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ0.3%増の1,496百万円となりました。

これは、「資本金」が5百万円、「資本剰余金」が5百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年5月12日発表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	489,807	708,253
受取手形及び売掛金	407,826	435,763
商品及び製品	163,726	168,412
仕掛品	17,755	18,919
原材料及び貯蔵品	175,935	208,142
繰延税金資産	35,939	34,672
その他	83,190	71,329
貸倒引当金	△279	△521
流動資産合計	1,373,902	1,644,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	515,261	975,385
機械装置及び運搬具（純額）	560,491	636,513
土地	2,035,667	1,968,644
建設仮勘定	843,461	631,910
その他	52,308	77,795
有形固定資産合計	4,007,191	4,290,250
無形固定資産		
その他	109,698	109,560
無形固定資産合計	109,698	109,560
投資その他の資産		
投資有価証券	3,016	3,494
繰延税金資産	75,848	78,213
その他	20,818	20,923
貸倒引当金	△765	△765
投資その他の資産合計	98,917	101,866
固定資産合計	4,215,807	4,501,677
資産合計	5,589,710	6,146,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	333,280	392,824
短期借入金	1,750,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	524,156	628,754
リース債務	22,519	19,335
未払金	99,183	77,124
未払法人税等	11,687	15,806
賞与引当金	36,283	38,641
設備関係支払手形	392,711	272,556
その他	54,926	125,107
流動負債合計	3,224,749	3,570,151
固定負債		
長期借入金	868,520	1,077,476
繰延税金負債	154	137
その他	3,249	2,107
固定負債合計	871,924	1,079,721
負債合計	4,096,673	4,649,872
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	757,744	763,164
資本剰余金	677,744	683,164
利益剰余金	38,812	42,715
自己株式	△7,527	△7,572
株主資本合計	1,466,774	1,481,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,175	1,507
為替換算調整勘定	△29,043	△41,069
その他の包括利益累計額合計	△27,868	△39,561
新株予約権	54,131	54,867
純資産合計	1,493,037	1,496,778
負債純資産合計	5,589,710	6,146,650

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	1,222,029	1,355,709
売上原価	630,679	695,708
売上総利益	591,350	660,001
販売費及び一般管理費	496,304	567,471
営業利益	95,046	92,530
営業外収益		
受取利息	557	167
受取賃貸料	1,000	984
補助金収入	10,000	-
その他	8,722	2,497
営業外収益合計	20,279	3,649
営業外費用		
支払利息	9,009	9,164
減価償却費	4,014	8,862
為替差損	46,041	3,553
その他	848	754
営業外費用合計	59,913	22,334
経常利益	55,412	73,845
特別利益		
新株予約権戻入益	3,289	-
固定資産売却益	-	1,999
特別利益合計	3,289	1,999
特別損失		
固定資産売却損	-	15,172
その他	-	0
特別損失合計	-	15,172
税金等調整前四半期純利益	58,702	60,673
法人税等	24,632	13,775
四半期純利益	34,070	46,897
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,070	46,897

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	34,070	46,897
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	332
為替換算調整勘定	△30,351	△12,025
その他の包括利益合計	△30,443	△11,693
四半期包括利益	3,626	35,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,626	35,204
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。